

| | | | | | | | |
|--|--|------------------------|-------------------------------|------------------|----------------|-------|------|
| 授業科目 | 専門分野別課題研究 (がん CNS) Research of Cancer Nursing | | 2 学年 | 通年 | がん看護 CNS 必修 | 30 時間 | 2 単位 |
| 担当教員 | 【氏名】 ◎石田 和子 樺澤 三奈子 | 【所属】 新潟県立看護大学 同上 | 【氏名】 酒井 禎子 | 【所属】 新潟県立看護大学 | | | |
| 【到達目標】 がん性苦悩の緩和をはじめ、がんによって起こるあらゆる苦痛を全体的に捉え、緩和するための、薬物療法によるがん患者の QOL の向上に資するために、方法論と援助展開論、特別演習 I、II で修得した理論を基盤にして、がん看護・緩和ケアにおける専門的な知識や技術を深めるための研究課題を、研究的アプローチに基づいて、論文あるいは成果物として作成する。 | | | | | | | |
| 【授業概要】 課題研究のプロセスに沿って実施する。 | | | | | | | |
| 【授業計画】 | | | | | | | |
| 回数 | 授業形態 | 学習課題 | 学習内容 | | 備考 | | |
| 1 | 講義 | 課題研究ガイダンス | 課題研究のスケジュール調整 | | | | |
| 2 | 演習 | 研究方法及び計画書の立案 | | | | | |
| 3 | 演習 | データ収集、分析 | 課題研究の完成を目指してデータ収集および分析、論文のまとめ | | | | |
| 4 | 演習 | 論文作成 | | | | | |
| 5 | 演習 | 課題研究発表 | プレゼンテーションを行う | | | | |
| 【評価方法、評価基準】 レポート 50%、プレゼンテーション 30%、課題分析能力 20%を総合的に判断する。 | | | | | | | |
| 【テキスト】 必要時提示する。 | | | | | | | |
| 【参考書・資料等】 必要時提示する。 | | | | | | | |
| 【受講、課題、資料配布等のルール】 事前に資料を作成し教員に渡す。 | | | | | | | |
| 【教員からのメッセージ】 | | | | | | | |

| | | | | | | |
|---|--|---|--|------------------|-------|------|
| 授業科目 | 専門分野別課題研究 (老年 CNS) Research of Gerontological Nursing | 2 学年 | 通年 | 老年看護 CNS 必修 | 30 時間 | 2 単位 |
| 担当教員 | 【氏名】 ◎小長谷 百絵 | 【所属】 新潟県立看護大学 | 【氏名】 原 等子 | 【所属】 新潟県立看護大学 | | |
| 【到達目標】 高齢者を対象にした看護実践現場における関心課題の分析に基づいて、一連の研究プロセスを踏み、老年看護 CNS の課題研究として論文作成し、発表できる。 | | | | | | |
| 【授業概要】 老年看護に寄与する課題設定のもと、研究計画を立案して倫理審査を受け、計画に基づく研究活動（データの収集・分析、論文作成、研究成果の発表）を通じて一連研究プロセスを修得する。 | | | | | | |
| 【授業計画】 | | | | | | |
| 回数 | 授業形態 | 学習課題 | 学習内容 | | 備考 | |
| 1～30 | ゼミ | 1 年次の老年看護学特別演習Ⅲ、2 年次の専門分野別課題研究等の学修を通じて、設定した研究課題について、一連の研究プロセスを踏む。 | ①研究計画案の作成 ⇒ 計画案の審査を受ける ⇒ 倫理審査を受ける ②計画案に基づいて研究活動の実施 ・データ収集 ・分析 ・結果の整理 ・論文作成（⇒提出） ⇒審査を受ける（必要に応じて修正） ・発表 ⇒製本論文の提出 | | 小長谷 | |
| 【評価方法、評価基準】 研究活動の主体的取組み状況：50%，作成論文の適切性：50% | | | | | | |
| 【テキスト】 なし | | | | | | |
| 【参考書・資料等】 * 授業科目「看護学研究方法」で用いた参考書・資料 * その他、授業の中で随時紹介する。 | | | | | | |
| 【受講、課題、資料配布等のルール】 ・毎回、明示する次回授業までの課題について、授業日の 2 日前までに教員に提出（メール添付でも OK） * 詳細は初回開講時にガイダンスする。 | | | | | | |
| 【教員からのメッセージ】 老年看護 CNS として、老年看護の実践現場における課題分析に基づく研究活動を通じて、実践現場の質向上を図ることが求められています。したがって、一連の研究プロセスを理解し、実践現場の課題の研究的取組みに先導的役割を果たせるようになることを期待しています。 | | | | | | |
| 【オフィスアワー】 火・金曜日 | | | | | | |